

2019年1月から2022年3月の間に当院皮膚科でアトピー性皮膚炎と診断され、生物学的製剤治療（定期的な注射による治療）を受けた患者さんへのお願い

現在、当院ではレセプト等情報を用いたアトピー性皮膚炎に関する調査を行っています。

<研究の目的と背景>

アトピー性皮膚炎の治療は免疫抑制作用のある内服薬や外用薬が中心でしたが、免疫抑制作用が少ない生物学的製剤の開発により劇的に変化しています。生物学的製剤は薬価が高く、患者さんによって効果に差があり、適正使用が求められています。本研究では年齢、性別、症状のタイプおよび重症度、血液検査データなどを分析し、治療適応の指標を見出すことを目的としています。

<対象者>

2019年1月から2022年2月にアトピー性皮膚炎と診断され、生物学的製剤治療（定期的な注射による治療）を受けた方を対象とします。

<研究等における医学倫理的配慮について>

施錠可能な診察室内のコンピュータでデータを収集し、IDや氏名を切り離して解析し、患者さんの匿名性に十分留意し調査を行います。

<この研究に参加することによる利益・不利益>

介入を行わないため不利益を生じることはありません。解析にあたって使用するデータにつきましては個人を特定できないデータのみを使用しますので、患者さん個人のプライバシーは完全に保護されます。

本解析実施について当院ホームページへ公表することにより、対面での説明や同意などの手続きに代えさせていただきます。研究対象に含まれていると考えられ、本解析への参加に同意いただけない場合は担当者にご連絡ください。

施設名：山口県立総合医療センター

責任者：皮膚科 須田 文、山田隆弘